

Ⅱ 市町事業

令和3年度 学校・家庭・地域連携推進事業 実施市町一覧(松山市を除く)

協働活動 市町名		地域学校協働活動		えひめ未来塾		放課後 子ども教室		土曜教育活動		家庭教育支援	
		実施	箇所数	実施	箇所数	実施	箇所数	実施	箇所数	実施	チーム数
1	四国中央市	○	22	○	1	○	5			○	1
2	新居浜市	○	15			○	28	○	1		
3	西条市	○	35	○	25	○	25	○	10	○	
4	今治市					○	3			○	
5	上島町							○	1	○	
6	東温市	○	9			○	2	○	2		
7	伊予市									○	1
8	砥部町									○	1
9	久万高原町	○	3			○	2			○	1
10	大洲市	○	7			○	6			○	1
11	内子町	○	3	○	1	○	3				
12	伊方町	○	3								
13	西予市			○	6	○	6	○	1	○	1
14	宇和島市	○	35	○	29	○	13			○	1
15	鬼北町	○	7			○	3				
16	愛南町					○	5	○	1	○	1
合 計		10	139	5	62	12	101	6	16	11	8

各市町の協働活動の数値は、令和4年3月末までの見込み

地域学校協働活動



「玉津を救うのは君だ！」防災マップ作成
(玉津小学校地域学校協働本部【西条市】)

①【四国中央市】	川滝小学校地域学校協働本部	30
②【新居浜市】	高津校区地域学校協働本部	31
③【西条市】	玉津小学校地域学校協働本部	32
④【東温市】	拝志小学校地域学校協働活動	33
⑤【久万高原町】	美川小学校地域学校協働本部	34
⑥【大洲市】	新谷小・中学校地域学校協働本部	35
⑦【内子町】	小田地域学校協働本部	36
⑧【伊方町】	三崎小学校地域学校協働本部	37
⑨【宇和島市】	津島中学校地域学校協働本部	38
⑩【鬼北町】	広見中学校地域学校協働本部	39

川滝小学校地域学校協働本部【四国中央市】

～地域の力を子どもの育ちに生かそう～

◆活動の目的・理念

- 様々な人との出会いを通して、児童の健全育成を推進する。
- 地域を知り、地域を愛し、地域に生きる児童の育成に努める。

		配置		属性		活動内容						
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター		1	名	元市PTA連 合会会長		・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整						
教育活動推進員のべ人数		18	人	公民館長、人権擁護委員、民生児童委員、壮年会員、婦人会員、PTA役員等								
協力活動の内容		登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他
のべ日数	247 日	199 日	日	日	日	27 日	日	日	6 日	3 日	日	12 日
ボランティア のべ人数	1,341 人	995 人	人	人	人	195 人	人	人	6 人	45 人	人	100 人
連携・協力団体・機関		学校運営協議会委員、川滝公民館、川滝地区民生児童委員協議会、川滝婦人会、川滝壮年会、川滝駐在所、川之江南中学校、老人会（長生会、友楽会）										

取組の概要

<主な取組内容>

- 子どもに寄り添う学習支援
 - ・読み聞かせ
 - ・家庭科学習支援
- 心を豊かにする環境整備
 - ・お掃除ボランティア活動
 - ・PTA親子奉仕作業、資源回収への協力
 - ・通学路整備 ・ プール清掃
- 地域全体で取り組む見守り活動
 - ・登下校の見守り活動
 - ・交通安全教室
 - ・6年生自転車通学生練習
- ふるさとを愛する子どもを育む体験活動
 - ・みかん狩り体験学習
 - ・田植え、稲刈り体験学習
 - ・焼き芋



(通学路整備)



(プール清掃)



(みかん狩り体験学習)



(焼き芋)

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● お掃除ボランティア活動

児童数の減少により、校舎内外の掃除が十分できないことを学校運営協議会に相談した。協議の結果、川滝婦人会の方を中心に「お掃除ボランティア」を募集し、毎月第3木曜日の1時間目に活動することが決まった。階段や特別教室の掃除を常時活動とし、音楽会前には、音楽室の楽器を体育館に運んでいただいた。冬季には、ストーブの各教室への設置等も行っていただいた。また、9月には20名を超えるボランティアの方が集まり、児童のためにと運動場の草引きをしていただいた。きれいな運動場で運動会の練習をし、本番を迎えることができた。



事業を実施して

【成果】

- 協働活動を通して、地域の方が来校するきっかけができ、学校の様子、児童の様子を知り、地域全体で児童を育てるという意識が高まっている。また、児童の地域の方への感謝の気持ちも育っている。
- 親子奉仕作業、通学路整備、運動会等へ卒業生(中学生)の参加が増えた。
- 公民館行事への児童の参加が増え、地域の方に喜ばれている。

【課題】

- 地域の方にさせていただく活動が多いので、児童が地域へ貢献できる活動を工夫していきたい。
- 子どもたちがずっと地域とつながって成長していけるように、卒業生や保護者、地域との連携を図りたい。

高津校区地域学校協働本部【新居浜市】

～地域の力で子どもたちの教育活動を支えよう～

◆活動の目的・理念

- 地域の多様な人材が学校教育活動に関わり、子どもたちの豊かな心を育む。
- 地域全体で、地域の子どもたちを育み、学力の底上げを図る。
- 多くの地域住民が当事者意識を持って学校活動に関心を持ち、学校支援に関わる。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性	活動内容								
	3名		公民館館長 運審委員長 元PTA会長	・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・協働活動支援員等への連絡と調整 ・広報・啓発活動(学校だより、公民館報)								
協働活動支援員のべ人数		132人		公民館長・PTA・三世代交流わいわいクラブ・地域住民他								
協力活動の内容		登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他
のべ日数	40日	日	日	日	日	日	24日	日	日	1日	3日	12日
ボランティア のべ人数	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
連携・協力団体・機関		高津公民館、高津小学校、高津小学校PTA、東中学校、三世代交流わいわいクラブ、地域住民 まなび塾支援員										

取組の概要

<主な取組内容>

- 子どもに寄り添う学習支援
夏休みの宿題を中心とした学習支援
- 心を豊かにする教育活動
・読み聞かせ(低学年で、月1回のペースで実施)
・茶道クラブ・茶道部の指導
日本の伝統文化の茶道を通し、相手に対する礼儀や気配りなどを学ぶ
- 豊かな地域人材を活用した教育活動
・地域の先輩に学ぶ(様々な職業従事者の体験談)
・面接指導(地域住民が面接官となって面接の練習)
・校内合唱コンクール(音楽の知識が豊富な地域住民が審査員として参加)



(中高生も指導者として参加)



(子どもたちも物語に夢中)

学習会に参加した児童の感想

- ・はじめて学習会にさんかしました。同じクラスの友だちもたくさんいました。先生もきてくれて、わからないところをおしえてくれました。夏休みだったけれど、みんなといっしょにべんきょうできてうれしかったです。(3年生)
- ・夏休みの学習会で分からない所を分かりやすく教えてくれて、行って良かったなと思いました。学習会では静かに集中して勉強できました。来年もあったら、また行きたいです。(5年生)

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● 高津小学校 夏休みの学習支援活動

ここ数年、夏休みの宿題を終わらせることができないまま2学期をスタートする児童が増え、数人の先生が夏休み中に児童の宿題をみていた現状があった。これを地域で支援したいと、まなび塾支援員・保護者・地域住民・中高校生が支援員となり、夏休みの学習支援を実施。家庭では取り組みにくい書道や読書感想文の指導も取り入れている。コロナ禍の中で感染対策をし、参加人数も調整したが一日平均約100名の参加があった。



(書道指導の様子)

事業を実施して

【成果】

- 地域住民と児童・生徒が顔見知りになり、挨拶や声かけができ交流が増えた。
- 子どもたちと触れ合うことで地域住民も活力が得られ、やりがいを感じた。
- 夏休みの宿題を終わらせることができる子どもが増え、新学期のやる気につながった。

【課題】

- 日程や内容をさらに充実させていきたいが、指導者やボランティアが不足している。
- 学校・保護者・地域が同じ目標を共有し、一歩踏み出すまでの過程が困難。
- 継続的な活動をするため、活力ある人材の確保が必須。

玉津小学校地域学校協働本部【西条市】

～地域や保護者、学校が協働し、玉津で育ち、玉津を愛する子を育てる～

◆活動の目的・理念

- 保護者・学校・地域の組織的な連携・協働により、本校の教育目標「キラキラ ピカピカ みんなとあくしゅ えがおとやるきでじぶんにちょうせん」の具現化を通して、玉津地域で育ち、玉津を愛する子どもたちを育てる。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置	属性	活動内容								
	1 名	市職員	・学校体験活動の予算の管理、支出								
協働活動支援員のべ人数	444 人	公民館、自治会、親友会、地域の防災士の方々、保護者等									
協力活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他
のべ日数 104 日	15 日	日	日	日	5 日	日	日	84 日	日	日	日
ボランティア のべ人数 444 人	60 人	人	人	人	5 人	人	人	379 人	人	人	人
連携・協力団体・機関	玉津公民館、玉津連合自治会、玉津親友会、玉津防犯協会、玉津交通安全協会、玉津婦人会、玉津小PTA 等										

取組の概要

<主な取組内容>

<地域学校協働活動支援員やちよこっとボランティアの教育活動支援>

- 「ミシンお助け隊」(教育活動支援)
手芸サークル「コスモス」や家庭教育研究会、ちよこっとボランティアの皆様の支援を頂きながら、6年生が布製リュックサックの製作活動を行った。
- 玉津花いっぱい作戦(教育活動支援)
玉津親友会やちよこっとボランティアの皆様と栽培委員会が協働で、花いっぱい为学校にするために、花の苗を植えた。
- 校外学習見守り活動
ちよこっとボランティアの皆様のご支援をいただき、安全に校外学習を実施した。
2年生 『図書館見学』(10月7日)
3年生 『スーパーマーケットの見学』(11月9日)
2年生 『まちたんけん』(11月11日)



(ミシンお助け隊)



(玉津花いっぱい作戦)



(図書館見学)



(消防署・警察署の見学)

児童の感想

ちよこボラさんと私たちが町探検に行きました。みのり保育園のけやきの木は、ずっと前からあって、子どもたちを見守っているそうです。知らなかったことが分かってよかったです。

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組> (<特色ある取組>)

「玉津を救うのは君だ！」防災マップ作成(6年生)

- 防災マップ講座①(11月8日)
愛媛大学の二神先生をお招きして、防災マップの作り方や他校の事例について学んだ。
- 防災タウンウォッチング打ち合わせ(11月12日)
玉津校区の防災士や自治会長、ちよこっとボランティア等、防災学習支援者と打ち合わせを行った。
- 防災マップ講座②(11月17日)
愛媛大学の二神先生や学生、地域の防災士や自治会長、ちよこっとボランティア等の指導のもと、防災タウンウォッチングを行い、玉津校区の防災上の危険箇所や避難場所、避難経路等を調査した。
- 防災マップ講座③(11月29日)
防災マップづくりを通して学んだことを、発表した。発表を通して、地域の良さを知り、防災活動への取組や自他の生命を大切にすることを高めた。



(防災タウンウォッチング)



(防災マップ作り)

事業を実施して

【成果】

- ちよこボラの方が授業を支援してくださり、児童一人一人への細やかな手助けや安全確保が可能となっている。
- ちよこボラ掲示板やメールで、人手がほしい学習や明日の予定を知らせることで、具体的な支援活動に結びついている。
- ちよこボラさんの来校が増え、教職員とのコミュニケーションが円滑になり、学校の教育活動に対する理解が深まった。

【課題】

- 保護者だけでなく、地域の方も気軽に学校に関われるような手だてを考えていきたい。

拝志小学校地域学校協働活動【東温市】

～地域の子どもたちを地域全体で育てる～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が連携・協働して、教育活動の質の向上を目指す。
- 子どもをど真ん中に置き、子どもの命と安全を守る取組を進める。
- 教職員の業務負担を軽減し、学校の業務改善を図り、子どもと向き合う時間を確保する。

地域コーディネーター	配置		属性		活動内容				
	1	名	区役員(現)		・協議内容を地域学校協働活動につなぐための計画作成 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整				
協働活動支援員のべ人数			人						
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	学校周辺環境整備	その他	
のべ日数	212 日	14 日	日	日	日	日	2 日	196 日	
ボランティアのべ人数	126 人	54 人	人	人	人	人	33 人	39 人	
連携・協力団体・機関	学校運営協議会委員、東温市社会福祉協議会、東温市生活研究協議会、婦人会、拝志保育所、民生児童委員、保護司、拝志小見守り隊員、拝志地区各公民館、地区役員・有志等								

取組の概要

<主な取組内容>

● 地域人材を活用した教育活動

- ・保・小の交流学习 ・社会福祉体験
- ・サツマイモの植え付け・収穫・調理
- ・読み聞かせ ・読書集会 ・人権集会 ・クラブ活動
- ・生活科、社会科、総合的な学習の時間等の講師

● 心を豊かにする環境整備

- ・地域有志による奉仕作業 ・親子奉仕作業

● 地域全体で取り組む見守り活動

- ・登下校時の見守り活動 ・帽子やビブスの配布

● 学校行事等への参画

- ・交通安全教室 ・避難訓練 ・PTA講演会



(熟議の様子)



(集会での読み聞かせ)



(サツマイモの料理づくり)

平和学習（防空壕見学）を終えて 児童の感想

戦争当時、実際に使われていた防空壕を見て、拝志地区でも本当に爆弾が落とされたのだと思いました。また、松山空襲にあわれた方の話を聞きました。焼い弾でたくさん家が焼かれたり、人々が命を失ったりした話を聞き、戦争は思っていたより身近で、命をうばい合うこわいものだという実感がわきました。



(防空壕の見学)



(松山空襲の体験談)

<特色ある取組>

● 地域の有志による奉仕活動

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、親子奉仕作業が中止となる中、30名ほどの地域の有志の方が、7月と10月に、校庭の草取りや垣根の剪定をしてくださいました。おかげで子どもたちは、整った環境の中で、気持ちよく学校生活を送ることができた。学校や子どもたちのためになるならと、奉仕活動だけでなく、登下校時の見守り活動についても、多くの方に快く引き受けて活動していただいていることに感謝したい。



(地域有志による奉仕活動)

事業を実施して

【成果】

- 児童の基本的な生活習慣の定着やいじめ問題について熟議を行い、学校・家庭・地域が連携しながら取組を継続していくことを確認できた。
- 地域の有志の方に、草刈り等に協力していただいたことで環境の整備だけでなく教職員の負担軽減につながった。
- ゲストティーチャーによる授業や体験活動の充実を図ることで、様々な方との触れ合いを通し、豊かな学びをすることができた。

【課題】

- 学校の目標や課題を地域と共有して、熟議を重ねることで、よりよい教育活動の実現につなげていく。また、他校や他地域での取組について情報を収集し、活動の充実を図ることができるよう研修を深める。
- 学校運営協議会での協議内容や活動の様子を地域の方に知っていただけるよう、ホームページや学校だより等で周知し、地域との連携をより深めていく。

美川小学校地域学校協働本部【久万高原町】

～地域とつながり、思いを受け継ぐ教育活動の創造～

◆ 活動の目的・理念

- 「こころの絆連絡協議会」を中心として地域とつながり、人々が学校に集い、にぎわいを増やす。
- 地域の歴史や文化、人物を学ぶを通して、子どもたちに美川のよさを実感させる。
- 地域の人々とつながることで、優しく素直な心を育てる。

	配置		属性		活動内容						
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	3 名		PTA会長 PTA副会長	・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動(通信「心のきずな通信」の発行)							
協働活動支援員のべ人数	45 人		公民館長、自治会長、老人クラブ会員、婦人会員、駐在所長、地域住民等								
協力活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他
のべ日数 213 日	160 日	日	3 日	日	日	日	日	11 日	6 日	日	33 日
ボランティア のべ人数 697 人	175 人	人	54 人	人	人	人	人	126 人	185 人	人	157 人
連携・協力団体・機関	久万公民館美川西分館、美川南分館、黒藤川分館、二箇分館、美川西婦人会、美川南婦人会 老人クラブ西寿楽会、久万高原警察署、久万高原交通安全協会、久万高原町教育委員会 他										

取組の概要

＜主な取組内容＞

● 地域を活かした教材の開発による郷土学習の推進

1 学期には、面河山岳博物館の学芸員の方の指導により、校内の自然環境に目を向け、校内の生き物探しを行った。予想以上の種類の生き物があり、子どもたちは驚いていた。
2 学期には、久万高原町教育委員会の学芸員の方の指導により、猿楽遺跡や赤蔵ヶ池の見学を行い、校区の歴史や、上黒岩岩陰遺跡の他にも貴重な遺跡があることなどを学んだ。



(赤蔵ヶ池の見学)

● 地域と連携した行事の推進

5 月には、婦人会の方と一緒に茶摘みを行った。例年は、茶煎り、茶もみも婦人会の方と一緒に行うが、今年度は感染症対策のため、児童と、教職員で茶煎り、茶もみを行い、製茶した。出来上がったお茶は、「みつ茶ん」として、製品にしたり、年間の学校用のお茶として活用したりしている。
9 月には、運動会を公民館 4 分館と合同で行っている。今年度は、感染症対策のため、午前中のみの開催となったが、創立 20 周年記念行事としても実施した。運動会の準備にも地域住民の方も大勢参加していただき、入場門は伝統的な杉門を設置し、立派な会場での開催となった。



(運動会 杉の入場門)

● 心を育てる地域学習の推進

毎月 1 回地域ボランティアの方による読み聞かせを行っている。内容はボランティアの方にお任せし、短い時間ではあるが、地域の方との交流できる時間となっている。
今年度からは美川少年太鼓を全校で取り組むようにし、学芸会で披露した。地域ボランティアの方に月 1 回指導していただき、初めて太鼓をたたく児童も日を追うごとに上達していった。



(読み聞かせボランティア)

児童の感想

- ・ 運動会は半日になったけど、ダンスや一輪車の演技を見てもらえ、20 周年として記憶に残る運動会になりました。
- ・ 今年、初めて太鼓をたたいたけど、だんだん上手になり、学芸会で演奏できてよかったです。

＜特色ある取組＞

● 地域と連携した伝統行事(門松・しめ縄作りとどんど焼き)

美川小学校創立当時から、本校の正門には年末に、老人クラブ西寿楽会の皆さんによって門松が飾られてきた。しめ縄作りも合わせて指導していただいている。材料の準備から作り方まで、ていねいに教えていただいている。令和 2・3 年度は、感染症対策のため、しめ縄は教職員の指導で作成した。門松やしめ縄を飾って新年を迎えた後は、1 月中旬に、それらを運動場に集め、どんど焼きを行っている。今年度は校区にある八柱神社の宮司に来ていただき、保護者や地域の方と一緒に、無病息災を願うの神事もしていただいた。年末から年始にかけての一連の行事を地域の方々の協力を得ながら実施している。



(門松の前で)

事業を実施して

【成果】

- 感染症対策を行いながら、地域と可能な限り連携を行ってきた。特に、12 月の「みかわ収穫祭」は、ちょうど感染縮小期であったため行うことができ、地域の方も喜んでいた。
- 地域との連携を継続することで、子どもたちが地域への理解を深め、誇りを高めることができた。

【課題】

- 感染症対策のため、特に高齢者との交流が減っている。今後、地域との連携が途切れないようにしなければならない。
- 児童数が減少することで、学習内容が画一的にならないよう、指導内容を工夫していかなければならない。

新谷小・中学校地域学校協働本部【大洲市】

～郷土に誇りをもつ子どもたちを、地域で育てよう～

◆活動の目的・理念

- 「郷土学習」を軸とし、系統性を重視した新谷小・中学校ならではの教育を支援していく。
- 教育活動に地域住民等が参画することで、子どもたちの多様な体験の機会を増やし、学校教育の充実を図る。
- 地域住民自らの知識や経験を活かす場を広げ、地域の教育力の向上を図る。

	配置		属性		活動内容							
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1	名	元教員		・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報「コミスク新谷」発行、啓発活動							
協働活動推進員のべ人数	151	人		新谷公民館、柳沢公民館、大洲福祉会館、新谷地区社会福祉協議会、柳沢地区社会福祉協議会、各自治会、老人会、民生児童委員、主任児童委員、新谷交通安全協議会、新谷商工会、新谷校区児童生徒をまもり育てる協議会、農林水産課、国土交通省大洲河川国道事務所等								
協力活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行事	進路指導 補助	その他	
のべ日数 157 日	6 日	日	34 日	日	日	日	日	48 日	15 日	日	54 日	
ボランティア のべ人数 361 人	180 人	人	28 人	人	人	人	人	79 人	16 人	人	58 人	
連携・協力団体・機関	新谷公民館、柳沢公民館、大洲福祉会館、新谷地区社会福祉協議会、柳沢地区社会福祉協議会、各自治会、老人会、民生児童委員、主任児童委員、新谷交通安全協議会、新谷商工会、新谷校区児童生徒をまもり育てる協議会、農林水産課、国土交通省大洲河川国道事務所等											

取組の概要

<主な取組内容>

- **豊かな人材を活用した教育活動**
 - ・地域のお年寄りによる戦争体験を聴く平和学習 (小学校)
 - ・地域のボランティアによる家庭科ミシン指導補助 (小学校)
 - ・ボランティアによる図書の本整理 (中学校)
- **心を豊かにする体験活動・環境整備**
 - ・地域の農家に教わる生活科野菜作り (小学校)
 - ・BMS運動(朝の挨拶、ボランティア清掃活動)(中学校)
 - ・PTA・地域ボランティアによる環境整備 (小・中学校)
- **地域と学校との連携**
 - ・「新谷のまちじまん」新谷商店街へ地域探検 (小学校)
 - ・河川国道事務所の職員と矢落川水生生物調査(小学校)
 - ・NFT(総合的な学習の時間)(中学校)



(平和学習)



(ミシン指導補助)



(野菜作りの指導)



(BMS運動)



(商店街探検)

<特色ある取組>

- **新谷中学校 NFT(総合的な学習の時間)**
NFTとは全校生徒が縦割りで7つの講座に分かれて学習する「総合的な学習の時間」の名称である。各講座の中で課題を見付け、調査・探求したものをレポートにまとめる活動を約半年間続けてきた。2学期の終わりには発表会を開き、それぞれの講座の成果をみんなで見ることができた。

生徒の日記より(新谷中学生)

各講座で、今までの成果をよくまとめて発表できていたと思う。自分の研究の他は、友達がどんなことを研究しているのか知らなかったのが、発表した人すべてがすごいと思った。



(NFTグループ代表発表会)

事業を実施して

【成果】

- コロナ禍ではあるけれど、昨年よりは地域に出向き、子どもたちの学びにつながる活動ができた。また、先生方と頻りにコミュニケーションを取ることで必要なときに必要な人員を配置することができるようになってきた。

【課題】

- まだまだ新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、子どもたちの安全・安心を第一に考えた活動が大切である。
- 一年を通して活動してみて、今後少しずつ小中学校の流れを系統的に位置付けていく必要性を感じた。

小田地域学校協働本部【内子町】

～地域ぐるみで小田の子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が連携し、「地域とともにある学校」づくりを推進する。
- ふるさと学習を中心として、小中一貫教育を推進し、郷土愛を深める。
- 地域人材の活用を図り、子どもたちの夢を応援する。

		配置		属性		活動内容						
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター		2 名		元郵便局長 地域住民		・学校・地域・自治会館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動(学校だより、町広報紙、自治センター広報)						
協働活動支援員のべ人数		90 人		農家の方、小田自治センター職員、自治会、老人会、婦人部、地元企業等								
協力活動の内容		登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他
のべ日数	50 日	5 日		10 日					20 日	5 日		10 日
ボランティア のべ人数	90 人	25 人		5 人					15 人	40 人		5 人
連携・協力団体・機関		内子町森林組合、燈籠まつり実行委員会、自治センター、自治会、婦人部										

取組の概要

<主な取組内容>

● ふるさとを愛する子どもを育む郷土学習

- ・地域の文化や産業の継承、地域に根差した食材を利用した体験学習を通して、ふるさと小田を愛する心をもった児童生徒の育成に取り組んでいる。
- ・地域の方の協力による体験学習を実施することで、自分たちが住んでいる地域の良さを再発見することができている。
- ・地域文化の継承(ミニ燈籠づくり)
- ・産業の継承(林業体験、農業体験)
- ・ふるさと学習(しいたけ栽培、しいたけ料理教室)



(しいたけ栽培)

● 地域人材を活用した教育活動

クラブ活動(ふるさとクラブ)で地域の歴史・自然・文化について、現地研修により、地域のゲストティーチャーから教えてもらう。



(しいたけ収穫)

● 地域とともに取り組む環境整備

学校奉仕活動には、地域の方々にも参加いただき、学校の環境整備に取り組んでいる。

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● おだのふれあい講演会

- 「わたしたちのふるさと～おだの文化とみりよく」
- ・小田を支えていく子どもたちに先輩たちから伝え、将来に生かしてほしいという願いを込めて「おだのふれあい講演会」を実施している。愛媛大学井口先生の講演とワークショップにより、小中学生と地域の人たちがふるさとの魅力を再発見することができた。



(愛媛大学井口先生の講演)



(ワークショップ)

参観者の感想

- ・小田の魅力のを見つけ方が子どもたちに伝わったと思う。
- ・当たり前の環境が、実はかけがえのないものであったことに気付くことができた講演やワークショップであった。

事業を実施して

【成果】

- 自然・歴史・文化・産業など多様な分野での地域理解が深まり、児童生徒の郷土に対する愛着を育むことができた。
- 農業体験等、地域の専門家から直接学ぶことで体験活動が充実した。

【課題】

- 新たなボランティア人材の確保と、物的な教材の発掘と整理を行い、活用につなげる。
- コロナ禍により十分な体験活動が予定通り行うことができなかった。オンライン等対応の手段を広げていきたい。

三崎小学校地域学校協働本部【伊方町】

～地域ぐるみで三崎の子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が手を取り合って、地域の宝である子どもたちを育てていく。
- 地域人材の活用を通して学校を支援するとともに地域の活性化を図る。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容							
	1	名	元教員		・学校支援ボランティアの派遣（人材確保及び連絡調整） ・広報・啓発活動 ・学校支援ボランティアの募集							
協働活動支援員のべ人数	人											
協力活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他	
のべ日数 159 日	20 日	日	日	日	日	日	日	11 日	2 日	日	126 日	
ボランティア のべ人数 415 人	80 人	人	人	人	人	人	人	36 人	35 人	人	264 人	
連携・協力団体・機関	三崎公民館、三崎地域老人クラブ、町見郷土館、裂織り保存会											

取組の概要

<主な取組内容>

- **学習支援への取組**
生活科や総合的な学習の時間の体験活動支援、読み聞かせなどを実施。
- **登下校の安全確保**
子どもたちの登校時間に合わせて通学路に立ち、安全確保と声かけ運動を実施。
- **校内環境整備への協力**
樹木の消毒・剪定、運動場の草引きなどの実施。



（家庭科ミシンの授業支援）

児童の感想

- ・初めてのエプロンづくりに挑戦したけど、分かりやすく教えていただいたので、どんどん進めることができた。
- ・農業・漁業の後継者の方々から直接お話が聞けて、知れたことがたくさん知れてよかった。
- ・暑い日も、寒い日も学校の運動場の草引きをしてもらうのでいつも気持ちよく運動や遊びができてとてもうれしい。手伝えるときは一緒にしようと思う。



（学校周辺の環境整備）



（三崎の産業について）

<特色ある取組>

- **裂織り体験活動**
佐田岬半島の裂織りは昔の岬の暮らしの中で人々の生活の知恵として生まれた織物である。これを先人の残してくれた宝物として守り、後世に伝えておられる保存会の方々による指導で毎年小学生が裂織りを体験している。この活動は10年以上続いている。今年も3・4年生が体験し、テーブルセンターを完成させた。裂織りは、ものを大事にする精神も伝えてくれ、伝統の技と心を学ぶ良い体験となっている。



（裂織り体験活動）

事業を実施して

【成果】

- 地域の方々の力が、学校支援ボランティア活動を通して、学校教育活動の充実に役立っている。
- 学校を支援する活動を推進していることで、地域の方々と学校とのつながりができ、地域ぐるみで子どもを育てる意識が高まってきた。

【課題】

- コロナ禍における支援活動の在り方を考える。
- 地域と学校で協働して行う活動の充実のための支援の工夫に努める。
- 地域コーディネーターの後継者の育成を図る。

津島中学校地域学校協働本部【宇和島市】

～地域の力を子どもの学びに生かそう～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が一体となって、学校を地域コミュニティの核と位置付け、地域ぐるみで子どもたちを育てる。
- 地域学校協働活動推進員が、学校と地域ボランティアの橋渡しを行い、教職員の負担軽減を図るとともに、地域人材を活用した学習支援を行う。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容							
	1	名	行政職員		・学校・地域の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・地域ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動（協働活動通信「つなぐ」）							
協働活動支援員のべ人数	人											
協力活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他	
のべ日数 314 日	日	日	日	2 日	日	312 日	日	日	日	日	日	
ボランティア のべ人数 411 人	人	人	人	3 人	人	408 人	人	人	人	人	人	
連携・協力団体・機関	岩松公民館、津島商工会、津島六宝保存協会、企業組合いわまつ、津島町内各事業所・店舗等											

取組の概要

<主な取組内容>

- 学校と地域をつなぐ学習支援
 - ・関牛見学、郷土料理教室、伝統芸能講座等の地域学習を実施
 - ・水産業、園芸、保育等の訪問体験学習を実施
 - ・津島町内の29の事業所で職場体験学習を実施
- 学校と生徒で行う地域貢献への支援活動
 - ・生徒参加型の学校運営協議会において熟議を行い、あいさつ運動「スマイルボランティア」、花壇「スマイルガーデン」づくりを企画・実施
 - ・豊かな心を支える校内環境整備活動として、体育祭前の校内一斉環境整備を実施
- 学校と地域をより深くつなぐ発信活動
 - ・協働活動通信「つなぐ」の発行
 - ・シトラスリボンを作成し、地域住民に配布活動を行うとともに、地域企業70社に対してポスター掲示を依頼



（郷土料理「六宝」の料理教室）



（あいさつ運動「スマイルボランティア」）

生徒の感想（生徒参加型の学校運営協議会を終えて）

- ・ 地域の方々と交流して話合いが出来たので良かったです。
- ・ 地域貢献のために活発な話合いができました。

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

- 生徒参加型の津島中学校学校運営協議会

令和3年度の津島中学校のコンセプトは「地域貢献」。「学校でできる地域貢献とは何か」について検討するうえで、生徒参加型の学校運営協議会を実施し、生徒会が作成した具体案について熟議の場で話し合った。

この熟議では、生徒や協議会委員（地域）の目線から多くの意見交換を行い、持続可能な活動として朝のあいさつ運動を開始した。

今回実施した「生徒参加型の学校運営協議会」については、新しい学校運営協議会の形式として今後も継続していきたい。



（生徒参加型学校運営協議会）

事業を実施して

【成果】

- 学校運営協議会に生徒が参加することで、学校運営に対して様々な角度から協議ができ、協議会の活性化につながった。
- 学校教育活動に対して地域が支援することで、活動が「学び」として生徒自身の成長を高め、自己肯定感の向上につながった。

【課題】

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、地域の企業・団体と対面での連携が取りづらい状況が続いていることから、効果的な活動方法や連携のあり方を検討する必要がある。

～地域の力を活用し、生徒の自律的な生き方を支援しよう～

- 地域住民等の理解と協力の下、地域との絆を深める学校教育の充実を図る。
- 地元の職場や人、環境から学び、生徒が自律的な生き方を追求できるように支援する。
- 地域と学校が連携を深め、協働することを通じ、鬼北をこよなく愛する地域づくりを目指す。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容						
	1	名	会計年度任用職員		・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援に関わる諸機関や地域住民への連絡と調整 ・広報・啓発活動						
協働活動支援員のべ人数	30	人	公民館長、福祉施設職員、農家の方、女性消防隊員、役場職員、住職等								
協力活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他
のべ日数 129 日	日	日	日	日	日	116 日	日	10 日	日	3 日	日
ボランティア のべ人数 394 人	人	人	人	人	人	116 人	人	98 人	人	180 人	人
連携・協力団体・機関	鬼北町役場・鬼北町社会福祉協議会・鬼北町商工会・北宇和病院・旭川荘南愛媛病院・鬼北消防署・鬼北町女性消防隊・県立北宇和高等学校・特別養護老人ホーム・障がい者支援施設・各校区の公民館・各校区の小学校・各校区の保育所・町内外の企業、事業所等										

- 子どもに寄り添う学習支援
 - 1年生・・・福祉体験学習(高齢者疑似体験・車椅子体験)
地域学習(地域の環境・文化・人から学ぶ学習)
 - 2年生・・・福祉体験学習(福祉体験講話)
 - 3年生・・・職場体験学習(町内の企業・事業所3日間)
災害対策体験学習
- 心を豊かにする環境整備
ボランティアによる樹木の剪定、野菜や花の栽培活動
- 地域全体で取り組む活動
分団別アルミ缶回収活動



(1年生 地域学習)



(2年生 福祉体験学習)

イベント起案には、いろいろな方々が関わり喜んでもらえるように頑張っていることが分かった。自分の地域の魅力やいい所を見つけて自分の地域をもっと好きになろうと思った。
(1年生 地域学習)

- 地元で活躍している人から学ぶ教育
地元で働いている方々から、郷土愛や生き方を学ぶ。
- 地元の女性消防隊員による防災・減災教育
地元の女性の視点から、避難方法や避難生活・応急手当の方法について学ぶ防災・減災教育を行う。



(1年生 地域学習)

- コロナ禍ではあったものの、地元の企業や事業者の理解を得て、受入れの確保ができ、スムーズに実施できた。
- 教職員では把握できない、地域の活動場所の確認や講師可能者等の情報収集に努め、生徒の学習に有効な情報の共有ができた。

- 生徒の活動が充実したものになるように、社会福祉協議会をはじめ、地域の関係諸機関と連携を深めて情報収集に努める。
- 生徒が地元の人との関わりを更に深められるような取組などを検討していく。

